

# やさい週間情報(第12号)

平成29年6月30日(金)  
全農あおもり やさい花き課

品名 ながいも No.1

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A4L	7,000~6,500	6,000~	-	1本売り (2L・L) 498~398円	本県産中心に北海道産の販売。 「むぎとろの日」の宣伝会以降、ながいもの発注が減り、仲卸および市場在庫が非常に多く荷動きは鈍化している。その中でもC品の荷動きは比較的良いものの、太物を中心に厳しい販売となっている。 来週以降、一旦価格を下げ、各社の在庫の整理および売り場の拡大を図り、消費の回復に努める。
		A3L	7,000~6,500	6,000~			
		A2L	6,000~	5,500~			
		A L	5,200~5,000	5,000~4,800			
		A M	4,500~4,000	4,500~4,000			
		B4L	6,200~6,000	5,200~5,000			
		B3L	6,200~6,000	5,200~5,000			
		B2L	5,500~	4,700~4,500			
		B L	4,800~4,500	4,300~			
		B M	4,200~	4,000~			
		C2L	4,700~4,500	4,400~4,200			
C L	4,200~4,000	4,000~3,800					
名古屋	本県産 北海道産	A4L	6,800~6,500	6,800~6,500		1本売り 598~498円	本県産・北海道産中心の販売となっている。 需要期を迎え、消費宣伝会の実施などにより売場は確保されているものの、安価な転送品の出回りや品質への懸念もあり荷動きが鈍くなっており、価格については弱保合いでの販売となった。 来週以降については、人参の選果作業により出荷量が少ない見込みとなっていることから、価格については弱保合いでの販売が続く見込み。
		A3L	6,800~6,500	6,800~6,500			
		A2L	6,200~6,000	6,200~6,000			
		A L	5,200	5,200			
		A M	4,600~4,200	4,600~4,200			
		B4L	6,200~6,000	6,200~6,000			
		B3L	6,200~6,000	6,200~6,000			
		B2L	5,700~5,500	5,700~5,500			
		B L	4,700	4,700			
		B M	4,400~4,000	4,400~4,000			
		C2L	4,700~4,600	4,700~4,600			
C L	4,300~4,200	4,300~4,200					

品名 ながいも No.2

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
大阪	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	6,500～ 6,500～ 6,000～ 5,300～5,000 6,000～5,800 6,000～5,800 5,600～5,300 4,700～4,500 4,800～4,200 4,200～3,800	6,300～6,000 6,300～6,000 6,000～5,500 5,000～4,800 5,500～5,000 5,500～5,000 5,000～4,500 4,500～ 4,600～4,200 4,000～3,800		カット 78～98円/100g	北海道産を中心に本県産の販売。 やさい全般で荷動きが鈍く、ながいもにおいても同様の傾向となっている。原因としては、量販店の売価が高止まりしているため、売れが鈍くなっていることが挙げられており、この傾向は続くものと予想されている。また、特に売価の高い太物を中心に荷動きが鈍く、本県産の転送の案内は、引続き多い状況にある。 来週については、入荷量は減少となるものの、需要は回復しきらず、価格は弱含み推移と見込み。
九州	本県産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L	6,800～6,500 6,800～6,500 6,300～6,000 5,500～5,200 5,800～5,500 5,800～5,500 5,300～5,000 4,800～4,500 4,700～4,400	6,800～6,500 6,800～6,500 6,300～6,000 5,500～5,200 5,800～5,500 5,800～5,500 5,300～5,000 4,800～4,500 4,700～4,400		カット 100g 98～78円	ながいもの流通量は多くはないが、青果物全般に消費が鈍く、また、売価に変動がないことから、荷動きの鈍さは変わっていない。 量販店ではほぼカット販売だが、売り場の拡張は見られず、売価高のまま推移している。 来週から他選果に伴い入荷量は減少となるが、荷動きの鈍い状態が続き、価格は弱保いで推移する見込み。
東北	本県産 北海道産	A4L A3L A2L A L B4L B3L B2L B L C2L C L	6,500～ 6,500～ 6,200～ 5,200～5,000 6,000～5,800 6,000～5,800 5,500～5,300 4,700～4,500 4,500～4,300 4,000～	6,500～ 6,500～ 6,200～ 5,200～5,000 6,000～5,800 6,000～5,800 5,000～5,300 4,800～4,500 4,500～4,200 4,000～	なし	1本売り 480～円  カット 100g 84～78円	本県産中心の販売。 引続き、ながいもの需要期ではあるものの、売価高から末端の荷動きは鈍い。ただ、人参の選果が始まったことにより入荷量は減少しており、市況は保合推移となっている。 来週以降についても入荷量は減少となることから、堅調な販売は続く見通し。

品名 にんにく

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産(生) 香川県産(乾燥)	A2L AL AM 秀3L 秀2L 秀L	1,200 1,300~1,200 1,000 1,600~ 1,600~ 1,400~	1,200 1,300~1,200 1,000 1,600~1,500 1,600~1,500 1,400~1,200	-	L1P 298~258円 M1P 198~178円 中国産3P 100円 スペイン産1P 158~98円	西南暖地産の乾燥品中心の販売となっている。 本県産の生品の出荷が終盤となり、ほぼ入荷がない状態となっている。また、香川県産も病害虫の関係から乾燥にまわるものが少なく、総体量の少なさから生品の荷動きもスムーズとなっている。 来週についても本県産の生品については保合いでの販売見込み。
名古屋	本県産	(生) A2L AL	1,200 1,000	1,200 1,000		L1P 258~198円	本県産中心の販売となっている。 28年産は終盤となっている中、品質への懸念はあるものの流通量が少ないことから、安定した販売となっている。 生品については、乾燥品主体の売場展開であることから、引合いは弱く限られた売場での販売となっている。
大阪	本県産	(生) A2L AL AM	1,400 1,400~1,300 1,200	1,300~ 1,300~		L1P 298円	本県産の生品の販売。 CA品の入荷がなく、生品主体の販売に切替っているが、流通量の少なさから堅調な販売で推移した。 来週についても、同様の傾向は続き、価格は保合推移となる見込み。
東北	本県産	(生) A2L AL	1,200~1,100 1,200~1,100	1,200~ 1,200~	なし	L1P 298円	本県産中心の販売。 本県産の生品の入荷量は多くはないものの、28年産乾燥品の在庫を各社持っており、生品の荷動きは鈍い。 市況は日々軟調推移。 来週についても、引続き入荷量の少ない乾燥品は保合での販売となるものの、入荷増量が見込まれる生品については価格を下げた販売となる見込み。

品名 きぬさや

事務所	主力産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	1 kg	2,000~1,800	2,000~1,800			<p>遅れていた東北各産地が一気に出揃い、潤沢な入荷となった。これまで高値での販売が続いたことから豆類全般に荷動きが悪く、本県産についても日々価格を下げながらの販売となった。</p> <p>来週については、引続き東北産地の入荷量が多い見込みで、相場は弱含みで推移する見込み。</p>
名古屋	本県産 長野産他	A L A M	1,600~1,800 2,200~2,000	1,600~1,800 2,200~2,000			<p>本県・長野県産中心の販売となっている。</p> <p>本県産の品質評価は高いものの、出荷ピークを迎え数量増となったうえ、他県産が本県産を下回る価格で流通していることなどから下げ基調での販売となった。</p> <p>来週についても本県産・他県産ともに潤沢な流通量が見込まれるうえ、流通在庫も多いことから厳しい販売が続く見込み。</p>
大阪	北海道産 岩手県産 本県産	A L A M	1,500~ 2,000~1,800	1,500~ 2,000~1,800			<p>本県産を中心に、北海道産・岩手県産の販売。</p> <p>北海道産・岩手県産は入荷が少ないものの、安価であることから本県産の引合いは弱くなってきており、価格も弱含みで推移した。</p> <p>本県産がピークを過ぎ、徐々に数量を減らしながらの販売となるものの、北海道産・岩手県産の入荷は横ばいとなることから、価格は保合推移となる見込み。</p>
東北	本県産	A M	2,000~1,800	2,000~1,800		—	<p>本県産中心の販売。</p> <p>東北産の入荷量が増加しており、市況は弱含み推移となった。本県産についても、夏ぎやの入荷が増加しており、市況は弱含み推移となっている。</p> <p>来週については本県産露地物の入荷は変わらないものの、他県産の安値から市況は弱保合推移となる見込み。</p>

品名 だいこん

事務所	主力地	主力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 北海道産	A 2 L A L	900～800 1,000～900	800～700 900～800	—	1本 198～178円  ハーフカット 98円	<p>本県産、北海道産中心の販売となっている。</p> <p>北海道帯広地区の入荷が本格的に始まり、本県産の入荷も増えている。これまでの高値で売り込みができておらず、急激な数量増加にともない市況は日々下げの展開となった。</p> <p>来週は本県産の減り込み予想もあるものの、羊蹄地区の入荷も始まることから、総体量は変わらず多い見込みで厳しい販売が予想される。</p>
名古屋	本県産 北海道産	A 2 L A L	900～800 1,000～900	800～700 900～800		1本売り 258～198円	<p>本県産・北海道産中心の販売となっている。</p> <p>先週までは北海道産の遅れから品薄高であったものの、今週は北海道産も本格化し潤沢な入荷となったうえ、月末絡みもあり、下げ基調での販売となった。</p> <p>末端での売場は本県産中心となっているものの、まとまった入荷が続く中、売価高もあり荷動きは鈍くなっており、引続き下げ基調での販売が続く見込み。</p>
大阪	北海道産 本県産	A 2 L A L	800～700 1,000～800	800～700 1,000～800			<p>北海道産・本県産の販売。</p> <p>北海道産が潤沢な入荷となったことと、やさい全般の荷動きの鈍さから、価格は下げ基調での推移となった。</p> <p>来週以降についても、同じ傾向は続き、価格は弱含みで推移する見込み。</p>
東北	関東近在産 本県産	A 2 L A L	800～700 1,000～800	800～700 900～800	—		<p>本県産中心の販売。</p> <p>本県産中心の入荷の中で、北海道産の価格の下げもあり、市況は下げ基調となった。ただ、入荷量は安定していることから、市況は下げ止まった感はある。</p> <p>来週についても、入荷量は変わらないものの、荷動きは鈍く、市況は弱保合い推移の見込み。</p>

品名 こ か ぶ

事務所	主力地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A 2 L A L	1,000～ 800 1,000～ 800	1,000～ 800 1,000～ 800			<p>本県産中心の販売。 千葉県産の入荷量も少なく、本県産もそれほど多くない状態で推移したものの、月末悩み等から厳しい販売となり弱保合いで販売となった。 来週について、本県産は徐々に増量しており潤沢な入荷量となることから、保合いで販売となる見込み。</p>
名古屋	本県産	A 3 L 2 L	900～800 900～800	900～800 900～800			<p>本県産中心の販売となっている。 3 Lは企画の中心となっている中、入荷比率が低く安定した販売となっているものの、入荷比率が高い2 Lは弱保合いで販売となった。 引き続き、本県産主体の売場展開が見込まれることから概ね保合いで販売が続く見込み。</p>
大阪	本県産	A 3 L A 2 L A L	900～ 800 1,200～1,000 1,000～	900～ 800 1,200～1,000 1,000～			<p>本県産中心の販売。 本県産の品質は安定して良いものの、やさい全般の荷動きの鈍さから、価格は保合で推移している。 来週についても、同じ傾向は続き、価格は保合で推移する見込み。</p>
東北	本県産	A 2 L A L	1,000～ 800 1,000～ 800	1,000～ 800 1,000～ 800			<p>本県産中心の販売。 今週は、月末から荷動きが鈍く、入荷量は多くは無いものの、市況は下げとなった。 来週についても入荷量は大きく変わらない見込みの中で、引続き積極的な販売となることから、市況は保合推移の見込み。</p>

品名 きゅうり

事務所	主産地	主等力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	Aコン	1,500~1,300	1,500~1,300			<p>関東近在産中心に福島県産の販売となっている。</p> <p>東北産地の気温上昇から総体量は増量傾向となっている。福島県産についても露地物で遅れていた生育が徐々に回復してきており、出荷量は増量傾向。</p> <p>来週についても、引き続き東北産が増量の見込みから相場は弱保合いでの販売となる見込み。</p>

品名 トマト

事務所	主産地	主等力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産	A L A M A S	1,600~ 1,800~ 1,600~	1,600~1,400 1,800~1,500 1,600~1,300			<p>関東近在産中心の販売となっている。</p> <p>関東近在産はそれほど多くはないものの、本県産および東北各県産の出荷も徐々に始まり、休市明け以降、弱めの相場展開となっている。</p> <p>来週についても、各産地が出揃うため相場についても下げの展開となる見込み。</p>

品名 ミニトマト

事務所	主産地	主等力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	本県産 関東産	パック 3Kバラパック	160~ 1,800 140~120	160~ 1,800~1,600 140~120			<p>関東近在産中心の販売。</p> <p>関東近在産は、出荷ピークを過ぎており日々入荷の安定しない状況が続いている。今週末にかけて東北各産地が徐々に増えつつあり、相場も平年並みで推移している。</p> <p>前段産地の品質低下から本県産をはじめ、引合いは強く来週についても強保合いでの販売となる見込み。</p>

品名 にんじん

事務所	主力地	主力級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東京	関東近在産 本県産	本県産 A L A M 千葉県産 (予冷) A L A M	本県産 1,400~1,300 1,500~  1,300~1,200 1,400~	本県産 1,300~1,200 1,400~1,300  1,200~ 1,300~1,200		L3P 158~148円 M3P 148~128円	本県産および関東近在産中心の販売。 千葉県産については、降雨と気温状況から肥大が進みL中心の出荷へと変わっている。また、本県産についても、L中心の出荷の流れから、これまでから一転、L級以上の販売苦戦となっている。 来週は埼玉、茨城産が終盤である程度目途がつき来週末でほぼ終了となるものの、千葉県産の残量は引き続き多く、潤沢な入荷が見込まれる。月替わりとともに売り場は本県産中心に変わることから、相場の維持に努める。
名古屋	青森県	2L L M	1,400~1,300 1,400~1,300 1,500~1,400	1,200~1,100 1,200~1,100 1,300~1,200	多い	L3P 198円 M3P 158円	本県産・北海道産中心の販売となっている。 岐阜県産の入荷は概ね終了となったものの、末端の売場が完全に切り替わっていない中、本県産の高値および出荷量の急激な増加から、厳しい販売となった。 来週についても流通在庫が多い中、潤沢な入荷が見込まれるうえ、他地区からの安価な転送品の出回りや本県産の品質への懸念もあり、下げ基調での販売となる見込み。
大阪	長崎県産 和歌山県産 本県産 北海道産	A2L A L A M	1,300~1,200 1,400~1,300 1,500~1,400	1,000~ 1,100~ 1,200~			長崎県産・和歌山県産の残量と、本県産・北海道産の販売。 長崎県産・和歌山県産とも、例年であれば終盤を迎え品質低下品が増えてくる時期だが、空梅雨であるため、それほど品質は悪くないことと、価格が安価であることから、本県産への産地切替えは難しい状況となっている。 来週については、前段産地が7月10日頃に切り上がると予想されているため、引続き、厳しい販売となる見込み。
九州	本県産	A2L L M S		1,500~1,400 1,700~1,500 1,700~1,500 1,300~1,100		3P/158円	現在、長崎県産を中心に熊本、鹿児島県産の販売。 熊本・鹿児島県産は今週末で概ね終了だが、長崎県産(業者物)はS級を中心に昨年以上の在庫があり、また、ほ場にも残っている状態となっている。 今週末から本県産の入荷となり、販売環境は良くはないが、各市場の入荷量を見極め、早期の産地切り替えにより、売り場の確保を図る。



品名 に ん じ ん NO.2

事務所	主産地	主力等級	現在の価格	来週の予想価格	市場在庫状況	小売り状況	販売状況
東北	本県産 関東近在産	本県産 A L A M	本県産 1,500~ 1,300~	本県産 1,300~ 1,300~			関東近在産の販売、本県産の入荷が今週より始まった。関東近在産については、これまで細物中心の出荷となっていたものの、徐々に肥大が進みL級の比率が上昇傾向となっている。今月いっぱいの販売を見込んでいたものの、残量が予想より多い状況となっており、総体量の多さから来週についても、厳しい販売が続く見通し。